２組７班

大人が知らない若者言葉

松井 知佳　　石原 早百合　　岩崎 日南子　　金森 桃子
藤井 愛奈　　古市 菜瑠美　　渡邉 知央

要旨

現代の若者言葉には他の年代の人に意味が伝わりにくいものが多い。世代別に，若者だった時に使っていた言葉についてのアンケート調査を実施したところ，現代と昔では言葉の種類が違うことが明らかになった。

キーワード：若者言葉，高校生，大人，ネット社会，略語

１　序論

若者言葉（流行語）を使って親と会話をすると，親には言葉の意味が伝わらず，会話がかみ合わなくなって話が止まってしまうことがあった。その時なぜそのような現象が起こるのか，その理由を調べてみたいと考えた。本研究では，中・高校生を若者とし，それ以外を大人とする。

２　仮説

①親が若者の時使っていた言葉と現代の若者言葉とでは，言葉のでき方に違いがあるのではないか。

②ネット社会の現代に親世代が溶け込めていないから若者言葉が理解できないのではないか。

この２つの仮説について調査を行うことにより，世代を超えた人同士で円滑なコミュニケーションをとるにはどうしたらよいかを考察する。

３　アンケート調査

①仮説を検証するため以下のアンケート調査を実施した。

世代別に，若者だったときに流行った言葉・その言葉の意味を書き出してもらう

（生徒７クラス分，教員 20 代～50 代　計 19 人）

②調査結果を，次の視点に基づいて分類し，集計する。

・アンケート結果をいくつかの品詞に分類して集計する。

・外国語まじり，新しく生まれた語，略語などにも分類する。

２組７班

４　調査結果

年代・品詞別に分けて得られた若者言葉の数

	名詞	動詞	形容詞	感動詞	状態	その他
生徒（７クラス）	２３	１６	２０	6	9	8
20 代（５人）	5	１０	5	0	3	2
30 代（４人）	3	9	3	0	0	1
40 代（５人）	4	2	2	1	0	2
50 代（５人）	4	1	0	0	0	4

※なお，下の例のように人や物のありさまで品詞分類に入らないものを状態として分類した

（例）

状態	おこ，激おこ	怒っていること	
名詞	いつめん	いつものメンバー	
動詞	ふぁぼる	お気に入りに登録する	
形容詞	やばい	ほかのことよりとびぬけていること	
感動詞	ウホッ♡	思わず出てしまう感動の言葉	
その他	とりま	とりあえずまあ　の略	など

アンケート調査から，次のように整理することができる。

①　大人　：動詞などが多く意味が推測しやすい

　　生徒　：新しい言葉が多い。意味が推測できない，理解できない

②　生徒　：ネットに関する言葉が多い　→　～なう，orz　など

　　20・30 代：略語が多い　→　あけおめ，着メロ　など

　　40・50 代：その年代の出来事から生まれた語が多い　→　江川る，竹の子族など

５　考察

アンケート調査の結果から，世代を超えた人と円滑なコミュニケーションをとるために，次のことが必要だと考えられる。

社会全体としても個人としても，話す相手によって敬語などの言葉を使い分けたり，マスメディアや学校教育の中では，すべての世代の人が理解できる言葉を選ぶように配慮すべきである。

しかしながら，流行語を使いたいことこそが若者の特性でもあるから，円滑なコミュニケーションをとることを優先するのであれば，大人世代もメディア等で現代の言葉を知ることが大切であり，若者は時と場合によって，正しい日本語を使い分けるよう心がけることが必要であろう。

【参考文献】

・町田健:日本語のしくみがわかる本，研究社出版(2000)

・町田健:変わる日本語その感性，青灯社(2009)